

1 内政

（１） ２０２１年大統領選挙に向けた動き

１７日、国家選挙審議会（ＣＮＥ）は２０２１年３月の大統領・国会議員予備選挙に関し、９月１３日に公示予定である旨発表した。

（２） 汚職

ア ２１日、ホンジュラス政府は、ルビ緊急事態対処常設委員会（ＣＯＰＥＣＯ）長官が同委員会の指揮から外れた旨発表。新型コロナウイルスによる政府の緊急事態宣言を受け、ＣＯＰＥＣＯは医療提供体制の拡大等に向け随意契約による調達を行ってきたが、４月中頃、不当価格による調達疑惑が明るみに出て、会計検査院（ＴＳＣ）による調査が行われていたところであった。

イ ３０日、米司法省はプレスリリースを通じ、フアン・ボニージャ（Juan Bonilla）ホンジュラス元警察庁長官（通称エル・ティグレ）を麻薬密輸の共謀及び銃器・破壊兵器の使用・所持の疑いで起訴した旨発表。同元長官が、トニー・エルナンデス被告人（注：麻薬密輸の共謀罪等で米国で有罪判決を受けたエルナンデス大統領の実弟。量刑言渡しは６月２９日の予定。）及びエルナンデス大統領に代わり、米国への麻薬密輸を取り仕切り、ライバル関係にある他の麻薬密売人の殺害等に関与した疑いがある旨言及した。これに対し当国大統領府は、同日夜、麻薬密売者による虚偽証言に基づいたものであり、エルナンデス大統領に関する麻薬取引関与の言及は全くの虚偽であるとして反論した。

（３） 新型コロナウイルス

ア ７日、エルナンデス大統領は、ポストコロナに向けた国家計画策定のため、食料安全保障、教育、医療、経済、財政等、様々なテーマ毎に政府、民間企業、市民セクター等の代表者で構成されるワーキンググループを設置し、各セクターの制度改革に取り組んでいく旨発表。また、同大統領は９日、新型コロナウイルスの影響により生じうる世界的食糧不足に対処すべく、自給自足の体制を整えるための国内食料生産部門強化を国の優先課題に設定した。

イ １２日、教育省は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、全国における対面教育禁止措置を継続する旨発表（注：オンライン教育を禁止しているものではない。）。今次発表では禁止期間に関する言及はなく、実質無期限の措置。ホンジュラスでは３月１３日以降、公立・私立を問わず就学前・初等・中等教育の全教育機関が閉鎖されている。

ウ １４日、ウエルタ当地汎米保健機構（ＰＡＨＯ）代表は、国内及び他国の感染状況に鑑み、ホンジュラスにおける新型コロナウイルス感染は５月末以降から６月にかけてピークを迎え、その後は流行曲線の平坦化が予測されるとし、当面は外出禁止を継続すべきである旨述べた。また、当国の実際の感染者数は公表数よりもはるかに多いが、検査数が少ないため数字には表れていないと発言。

エ 21日当地主要紙エル・エラルドは、ホンジュラス政府予算で海外から調達中の新型コロナウイルス感染症患者のための移動型診療所(Hospitales Moviles)計7ユニットに関し、最初の2ユニット(合計182病床)は6月、残り5ユニット(合計295病床)は8月から当地で使用可能になる見込みである旨報じる。病床の大多数は集中治療室(ICU)及び高度治療室(HCU)として、重症患者の受入れを想定。

オ 22日、米開発協力庁(USAID)の資金援助で、国内2か所目となる感染症検査施設がサンペドロスーラ市に開設された。これまでは首都テグシガルパ市の国立ウイルス研究所で国内すべてのPCR検査を行っていたため、1日の検査数は100件程度にとどまり、検査遅延が深刻な問題となっていた。5月には国内3か所目の検査施設の開設が予定されており、当国における検査能力はさらに拡大される見込み。

カ 29日付当地主要紙エル・エラルドは、現時点において、ホンジュラスにおける新型コロナウイルスの致死率は8.9%で、仏14.2%、伊13.5%、英13.4%、西10.2%、墨9.3%に次ぎ世界で6番目、米大陸で2番目に高い旨報じる。

キ 国内全土を対象とした絶対外出禁止令(Toque de Queda Absoluto)は引き続き発令中。食料品、医薬品、ガソリンの購入、銀行手続き等を目的とした外出は、IDカード、旅券又は在留カードの末尾番号別に、政府指定の曜日にのみ許可される。

ク 30日時点で、国内の感染者は累計で804名、死亡者は75名確認された。感染者が最も多い地域は北部コルテス県で、全体の7割を占める。

(4) その他

ア 4日、カジェハス元大統領(国民党:1990~94年)が、米国内の病院で心臓発作のため76歳で逝去。白血病を患っており、2018年から闘病中であった。

イ 25日付当地主要紙エル・エラルドは、新型コロナウイルスの影響で米国等からのホンジュラス人不法移民の強制送還は大幅に減少したものの、引き続き空路でまとまった人数が送還されている旨報じる。3~4月の送還者数は合計約5千人で、前年同期比75%減。送還者は当地到着後、検疫・隔離措置を受けた後に出身地に戻される。

2 外交

- (1) 4日、台湾は、人口呼吸器、輸液ポンプ、生体情報モニター、薬品等の調達支援を目的として、ホンジュラス政府に100万ドルの支援を行う旨発表。加えて、9日には台湾製マスク18万枚を供与した。
- (2) 8日、米国は、USAIDの既存プロジェクト資金の内890万ドルを新型コロナウイルス対策に再配分し、医療センターの拡充及び対応能力の向上、遠隔教育に係る取組、隔離期間中の帰還移民への生活・衛生用品の提供等を支援する旨発表。
- (3) 13日、ポンペオ米国務長官は連邦議会に対し、エルサルバドル、グアテマラ及びホンジュラスに対して、移民保護に関する協力協定(ACA)の運用、米国の安全保障の推進、及び同3か国への重要かつ効果的な支援の提供といった、不法移民削減のための政策を継続していく

旨のトランプ政権の意向を説明。これを受けて当地米国大使館は16日、治安改善、帰還移民の社会再統合及び脆弱性を抱える人々の保護の分野におけるホンジュラスの制度強化等のため、米国政府として7,100万ドルの支援を行う旨発表。

- (4) 15日付当地主要紙エル・エラルドは、中米経済統合銀行（BCIE）から供与され、6日に当国に到着した韓国製の新型コロナウイルス簡易検査キット2.6万個に関し、検査用の抽出試薬が含まれておらず未だ活用されていない旨報じる。これに対しセラト保健次官は、抽出試薬は元々供与内容に含まれておらず、現在同試薬1.5万個の購入手続きを行っている旨、及びホンジュラス政府が同韓国企業から別途購入した簡易検査キット25万個についても抽出試薬が含まれていない旨明らかにし、入手に尽力していると述べた。
- (5) 19日、新型コロナウイルス感染拡大防止活動に従事するため、キューバから派遣された医師団20名がホンジュラスに到着。同医師団の活動は無償で行われるほか、滞在期間は無期限で、ホンジュラス政府が要請する限り活動が続けられる。
- (6) 24日、エルナンデス大統領は、トランプ米大統領と新型コロナウイルス対策等について電話会談を実施。トランプ大統領からは、人工呼吸器500～700台及び防護服の供与、並びにPCR検査30万回分の抽出キットを支援するとの意向が示された。

3 経済

- (1) 3月31日、IMFは、対ホンジュラス・スタンドバイ取極及びスタンドバイ・クレジット・ファシリティ（2019年7月承認）に基づき、新型コロナウイルス対策及び国際収支改善のため、当国政府への1.43億ドルの融資を承認した。
- (2) 2日、国会は、新型コロナウイルス感染拡大防止措置により影響を受けている企業の雇用維持のため、中小企業の2019年度法人所得税等に係る確定申告及び納付義務を、罰金・追徴課税無しで6月30日まで延長する（従来は4月30日）等の納税に関する特例措置を承認。同様に、雇用を一時的に停止された労働者に対し、企業年金制度（RAP）に加入している場合（注：従業員数が10名以上の企業は強制、5名以上の企業は任意で加入することになっている。）、1か月6,000レンピラ（約240ドル）の手当を受けることができるとする措置も決定した。同措置はマキラ企業の労働者にも適用される。
- (3) 10日、世銀はホンジュラスに対し、新型コロナウイルスによる緊急事態への迅速な対応を支援するため、1.19億ドルの災害リスク繰延引出オプション（CAT-DDO）付き融資を決定。加えて、17日、医療機器、医療従事者用の防護用品等の購入支援のため、0.2億ドルの融資を承認した。
- (4) 17日、BCIE理事会は、ホンジュラスを含む中南米のBCIE加盟12か国に対し、緊急財政支援、金融市場に対する流動性支援、中銀支援等を含む19.1億ドルの支援パッケージを承認した。
- (5) 24日、エルナンデス大統領は、新型コロナウイルスによる緊急事態下で経済的影響を受けている中小企業救済を目的として、25億レンピラ（約1億ドル）規模の保証基金を設立す

る旨発表。同基金を通じて担保の６５～９０％を政府がカバーすることで、十分な担保を用意できない中小企業であっても融資にアクセスすることが可能となる。

<主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2020 年				2019 年	2018 年
	4月	3月	2月	1月		
インフレ率（前年同月比）	3.33%	3.88%	3.99%	4.30%	4.08%	4.22%
貿易収支(百万ドル)	—	未発表	—	—	△3,139.0	△3,530.6
輸出(百万ドル)	—	未発表	—	—	8,714.9	8,669.3
輸入(百万ドル)	—	未発表	—	—	11,853.9	12,200.0
外貨準備高（百万ドル）	6,131.0	6,086.2	5,855.5	5,764.0	5,808.9	4,853.1
外国からの送金（百万ドル）	—	未発表	—	—	5,384.5	4,759.9
為替レート（対ドル月平均）	24.97	24.88	24.84	24.82	24.68	24.07

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支，輸出，輸入，外国からの送金は，四半期毎に発表

（了）